学校番号	119

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰの基礎を踏まえた応用課題を行います。張子技法による立体デザイン、彫り進み版画、油絵など、複数の素材・要素を含んだ課題を通して「実用性」「美しさ」「完成度」を意識し描きつくることにより、自分の個性を発見し、自分の創造的な表現方法や感性を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美的体験を豊かにし、美術文化についての理解を深め、表現や鑑賞の創造活動に試行錯誤しながら深く、また主体的に取り組もうとする。	自然、自己、社会などを深く見つめ、感じ取ったことや、考えたこと、目的、機能、美しさなどから主題を生成し、形式を選択しながら、創造的で効果的な表現の構想を練っている。	創造的で効果的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題に応じて、表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働き、美術文化などを多様な視点から分析し理解し、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート レポート 鑑賞の様子 出欠状況	ワークシート 制作の様子 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞の様子 レポート 発表内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	張子	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・張子技法で立体をつくる 新聞紙を丸めて型を作り、離形の為テープを巻き、和紙を張り重ねる。二つに切断、型を抜き、「オリジナルの箱」とする。 表面に着彩する。 ・作品合評会	○	○	○	○	a:よりよい形を模索しながら形をつくるなど、意欲的に取り組もうとしている。 b:目的、機能を意識した個性的な発想をしている。 c:張子技法の特性を理解し、型の形態を活かした作り方の工夫をしている。 d: 互いの作品についてよく鑑賞し、テーマや表現の工夫などを理解し、違いやそのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 作品 鑑賞の様子 鑑賞レポート
二学期	彫り進み版画	【版画】【鑑賞】 「美術室のイメージ」をテーマに制作する。 教室内をスケッチし、複数のスケッチを組み合わせ、テーマに沿って構成する。 ・作品合評会	○	○	○	○	a:彫り進み版画の効果やよさを理解し、主体的に表現活動に取り組んでいる。 b: モチーフの構成、線の表現法や配色を工夫し、創造的な表現の構想を練っている。 c: 刷工程やポイントを理解し配色や刷り方の工夫をしている。 d: 互いの作品のテーマ・表現の違いをよく鑑賞し、そのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 作品 鑑賞レポート
三学期	油絵	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・木をスケッチ ・ジェッソで下地をつけ、下塗り、点描で木を立体的に表現する。	○	○	○	○	a:油絵の特性や色を重ねる効果を理解し、主体的に表現活動に取り組んでいる。 b:構図、質感や色合いを工夫し創造的な表現の構想を練っている。 c:木全体の立体感を捉え、点描や混色などの工夫をしている。 d: 互いの作品の表現の違いをよく鑑賞し、そのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 作品 鑑賞の様子 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。